

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
2. 輸出入規制・関税・通関規制・物流						
1	日機輸	輸入通関の遅延	・建設機械パーツが到着後、輸入通関に時間が掛かる(3週間ほど)為、緊急性の高い修理に対応できず、ユーザの工事をストップさせてしまう。 中国メーカーの通関は1日程度で通関をパスするので不公平感も強い。	新規	・中国メーカーと同程度まで輸入通関迅速化を希望。	
2	日機輸	交通・港湾インフラの未整備	・輸送インフラ(港湾、道路、橋梁、重機材)が脆弱である事から重量物等の輸送が困難であり、輸送コストも高止まりする。	継続	・インフラ整備の推進。	
5. 税制						
1	日機輸	税制、行政手続の不明瞭・遅延	・税制、行政手続き上の不明瞭な点や担当官により対応が異なる等、現場での混乱が手続きの遅れや非効率を招いている。居住企業の定義や課税所得の解釈の拡大がみられ、高額課税を受けるケースがある。	変更	・ウェブサイトなどでの必要手続きの開示、課税に関する明確な方針説明。	
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	就労ビザ取得手続の不明瞭・遅延	・ビジネスビザや就労許可申請の手続きに変更や不明瞭な点が多い。就労許可には大学以前の学歴(卒業・成績証明書)が新たに必要となるなど取得の難易度が高い。	変更	・必要書類や手続き、ビザ種類等についての最新かつ明瞭な情報共有と周知徹底。	
8. 知的財産制度運用						
1	日機輸	税関の水際対策の不十分	・現地当局による摘発が行なわれ一定の効果は見られるものの、市場では模倣品が堂々と売られ、また大量の模倣品を保管・取引する模倣品業者が後を絶たない。これら模倣品の大部分は国内生産ではなく国外から輸入されたものであると考えられる。	継続	・税関登録制度の設置等、税関が水際で模倣品を差止める制度の導入や、模倣品の輸入差し止めの強化をして頂きたい。	
2	日機輸	商標権権利化審査の長期化・不備	・商標の登録証訂正を行ったが長期間経過しても審理されなかった。また、訂正記録が残されていないことが判明した。	継続	・訂正が確実に実施されるための施策と記録を政府としての取組みを早急にご検討頂きたい。	
9. 工業規格・基準・安全認証						
1	印刷機械	COC証明の煩雑さ	・アフリカ向けの輸出には国により適合証明書(COC: Certificate of Conformity)の証明がINTERTEK社、SGS社などを通し、必要となる。機械のテストレポートなど出荷直前に依頼を受け、準備する必要があり、受注時に要不要の判断を代理店に依頼するも信ぴょう性に欠ける。どういうケースで必ず必要になるのか判断基準が分からない。	継続		
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	日機輸	二国間クレジット制度の未締結	・日系企業によるアフリカでの再エネIPP参入において、価格競争力が問題となるケースが多い。二国間クレジット制度(JCM: Joint Crediting Mechanism)が締結されることで、EPC価格の低減を図ることができ、価格競争力を高める期待を持っている。	新規	・ケニア、エチオピア、セネガル、チュニジアと締結国が増えたことに歓迎。 アフリカ各国(二国間協議中のベナン含め)と、JCM締結を進めて頂きたい。	
11. 非効率な行政手続き・予見性を欠く法制度等						
1	日機輸	官僚主義	・政府機関とのやり取りにおいて官僚主義の傾向が強く、協議プロセスや手続きの遅れにつながっている。	変更	・組織内における一定の判断・意思決定権の委譲。	
2	日機輸	政策・規制の改変	・政策運営・規制運用等の急な改変が多いことから予測不能なビジネス環境が新規事業・投資へのリスクを高めている。	変更	・ビジネス投資環境に影響を与える政策・規制の改変に先立つ十分な官民対話・関係者ヒアリング。	

※経由団体：各団体の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。